

# 2013 FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 F1 日本グランプリレース 開催レポート

## 【大会開催概要】

■大会名称：

2013FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース

■併催：

スーパーFJチャレンジカップレース・ポルシェカップジャパン第10戦&11戦

| 日程          | イベント             | 天候 | 動員      |
|-------------|------------------|----|---------|
| 10月10日(木)   | F1ピットウォーク、サイン会   | 晴れ | 6,000名  |
| 10月11日(金)   | F1フリー走行          | 晴れ | 33,000名 |
| 10月12日(土)   | F1フリー走行・公式予選・前夜祭 | 晴れ | 52,000名 |
| 10月13日(日)   | F1決勝             | 晴れ | 86,000名 |
| 10月14日(月・祝) | F1ファンミーティング      | 晴れ | 5,000名  |

2013年12月18日  
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

## ■鈴鹿F1日本GP 25回記念大会

1987年の初開催から数えて、25回目となる記念大会。※07年、08年は非開催。  
『語り継ぎたい走りがある。』を25回記念大会のテーマとし、様々な記念イベントを開催。



語り継ぎたい走りがある。

2013 JAPANESE GRAND PRIX

## ■ファミリーも楽しめるF1日本GP

次世代のF1ファン、モータースポーツファン作りを目的に、お子様と一緒にファミリーが楽しめるF1日本GPを目指して、様々なファミリー向けイベントを開催。



※SUZUKA F1Kidsロゴ:統括団体であるFOMが日本のお子様のF1ファンのために作ってくれた特別ロゴ

『語り継ぎたい走りがある。』をテーマに、様々なイベントを実施。



中嶋悟。25回目の鈴鹿凱旋。(マシン展示、デモンストレーションラン)

新規イベント



鈴鹿F1 25回連続来場者 集合写真撮影

新規イベント

土曜 前夜祭



F1ドライバーズパネル(フォトスポット)

F1日本GPスペシャルステージ

レーシングシアター前ひろばにおいて、お子様が様々なF1にまつわる体験や学びができるイベントを実施。



小倉茂徳氏のF1マシン速さのヒミツ教室

新規イベント



マクラーレン・ホンダF1なりきりフォトスタジオ

新規イベント



東急ハンズプレゼンツ『応援うちわ手作り教室』

新規イベント



新規イベント

お子様無料『F1フェイスペイント』



コチラレーシングフォーミュラタイヤ交換体験

新規イベント



新規イベント

お子様無料『F1ネイルアート』

小林可夢偉選手によるフラッグプレゼント企画や、鈴鹿初の表彰式におけるストレート開放を実施。



小林可夢偉選手によるフェラーリフラッグプレゼント

新規イベント



F1Kids表彰式ツアー

新規イベント



クラシックカーコレクション

新規イベント

F1公式スケジュール以外の 木曜・月曜もイベントを開催。木曜は、地元小学校もピットウォークに参加。



|           | 2012年    | 2013年                     | 前年差       |
|-----------|----------|---------------------------|-----------|
| 学童ピットウォーク | 10校 835名 | 5校 302名<br>うち桑名1校※鈴鹿市以外で初 | ▲5校 ▲551名 |

【木曜】F1ピットウォーク



【木曜】東コースウォーク



【木曜】サイン会



【月曜】ファンミーティング



## ■2013年の総括

- ①日本人F1ドライバー不在により、前年から動員は減少。
  - ②地元小学生の木曜ピットウォーク参加数が昨年から減少。
  - ③ファミリーイベントの拡大化により、ファミリーの来場率は増加傾向。
  - ④Hondaが2015年よりマクラーレン・ホンダとして参戦することを発表。
- ※今年のF1日本GPにおいてブース出展。

| 動員数         | 2011年    | 2012年    | 2013年    | 前年差      |
|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 10月10日(木)   | 4,900名   | 10,000名  | 6,000名   | ▲4,000名  |
| 10月11日(金)   | 34,000名  | 41,000名  | 33,000名  | ▲8,000名  |
| 10月12日(土)   | 63,000名  | 64,000名  | 52,000名  | ▲12,000名 |
| 10月13日(日)   | 103,000名 | 104,000名 | 86,000名  | ▲18,000名 |
| 10月14日(月・祝) | 3,800名   | 10,000名  | 5,000名   | ▲5,000名  |
| 合計          | 208,700名 | 229,000名 | 182,000名 | ▲47,000名 |

## ■周辺環境

### ①F1車両規則改定

2013年:自然吸気2.4リッター(V8) → 2014年:1.6リッターターボ(V6)  
⇒88年以来のターボエンジン復活。市販車技術・環境技術が一般メディアの報道対象に。  
⇒チャンピオン争い勢力図に大幅な変動が見込まれる。新たなヒーロー誕生の可能性。



### ②ライコネン、フェラーリ移籍

ライコネンが2009年以来のフェラーリ復帰  
⇒非常に人気が高いライコネンがフェラーリに移籍復帰したことで、新たなファン創出の可能性。



### ③HondaF1復活に向けて残り1年

パワーユニット開発最終段階  
⇒2015年に向けた応援イベント・企画



### ④日本ドライバー参戦動向

日本人ドライバーの参戦決定情報は無し。小林可梦偉、佐藤公哉など。  
⇒引き続き、国内市場には厳しい状況。



### ⑤決勝日は、2014年10月5日(日)

⇒決勝後の10月6日(月)が平日

2014年は規則変更やドライバー移籍により、『**レースの魅力**』は**非常に高くなる**と考えられる。引き続き 木曜～月曜の5日間イベントを開催して、全国からのお客様をお迎えする。また15年HondaF1復帰に向けて、F1の話題性は益々高まっていく。これを機に、**おもてなし・交通対策・地元来場増加策**などあらゆる面において、F1協議会の皆様と共に取り組ませていただきたい。